



「第8回 宮園小チャレンジ・コンテスト」の結果について

廿日市市立宮園小学校
校長 中谷 一志



「第8回 宮園小チャレンジ・コンテスト」(通称:チャレ・コン)には、自分から進んでチャレンジした14名の児童から16作品の応募がありました。審査結果は次のとおりです。

1 最優秀チャレンジ賞

1～3年生の部

◎2年2組 植岡 希歩 さん「ミニ夏まつり大さくせん」

《校長コメント》

何をするかなどのアンケートを取ることからスタートして、役割や出すお店、遊びのルールを決め、看板づくりやお店の準備をするなど、お家でミニ夏まつりを開くために計画的に進めたことがよく分かるようにまとめられています。本番当日は、自家製のチョコバナナなども用意して、友達と一緒にゲームを楽しんだようです。とても楽しいミニ夏まつりになったことがしっかり伝わってくる作品になっています。



4～6年生の部

◎5年1組 今田 蒼空 君「ソラモロコシの成長記録～トウモロコシを種から育ててみたよ～」

《校長コメント》

理科の授業でインゲン豆の発芽について学習したことをきっかけに、実際に自分でも種を発芽させ育ててみたいと思い、トウモロコシを種から育てることにしたそうです。6月2日から始めて9月2日の収穫まで、ちょうど3カ月間のトウモロコシを育てる様子が写真つきで分かりやすく記録されています。収穫後にはそのトウモロコシをちゃんといただいたようです。「ふり返り」として気づきや疑問がきちんと書かれていることにも感心しました。



2 優秀チャレンジ賞

1～3年生の部

◎2年2組 萬度 勇仁 君 「ぼくのおお虫につき」

◎2年2組 河本 もな さん「せかいの学校について」

4～6年生の部

◎5年1組 棚田 珠来里 さん「SDGsってなんだろう??」

3 総評

今回は、14名の児童から素敵なチャレンジが届きました。今回も力作が多く、審査がとても難航しました。しっかり時間をかけてコツコツと継続的に取り組んだことが伝わってくる作品には、いつもながらとても感心させられました。

一番大切なことは、チャレンジしようという気持ちとそれを行動に移す力です。身の回りの興味を持ったことについて、調べてみよう、やってみよう、一歩も二歩も踏み出そうとする児童がどんどん増えてほしいと思っています。